

様式第3（第8関係）

指定管理者評価判定結果報告書

令和5年7月5日

高 浜 市 長 殿

高浜市やきものの里かわら美術館
指定管理者選定評価委員会
委 員 長 森 克 徳

令和4年度の指定管理者の評価の判定結果について、高浜市指定管理者の評価に関する指針第8の規定により報告します。

1. 施設の名称	高浜市やきものの里かわら美術館			
2. 指定管理者の名称	乃村工藝社・NTTファシリティーズ美術館運営共同事業体			
3. 指定期間	平成28年4月1日 ～ 令和5年3月31日			
4. 協定書・事業計画書等に基づく管理の概要	・かわら美術館の利用及びその制限に関する業務 ・かわら美術館の管理運営に関する業務 ・かわら美術館の利用に関する料金徴収に関する業務 上記に掲げるもののほか、市長が必要と認めた業務			
5. 大分類項目の評価				
項目	満点	評点	満点に対する割合	判定結果
① 総則に関する事項	140点	138点	98.6%	A
② 施設設備の維持管理に関する事項	75点	75点	100.0%	A
③ 運営及びサービスの質の向上に関する事項	420点	376点	89.5%	A
6. 総合評価				
項目	満点	評点	満点に対する割合	判定結果
総合評価	635点	589点	92.8%	A
7. 評価結果についての講評				
別紙のとおり				

【別紙】

評価結果についての講評

総評

- ・2016年から「みんなで美術館」をキャッチフレーズにして活動され、市民、学校、地場産業、との連携、関わりを深め、その効果が徐々に表れてきているのではないかと思います。職員の皆さんのご努力に感謝する。
- ・少人数のスタッフながら、いろいろな企画を実施しているところは、大いに評価する。しかしながら、もう一歩のところまで市民に広く知られていないことが多い様にも思うので、今後は図書館といっしょになり多くの来場者が期待できると思うが、「来れば楽しい！！」ことが多くの市民に伝わる方法を考えていただきたい。
- ・市民及び地域団体との連携、協力が充分なされている感じがした。今後は市民参画を意識した活動を期待する。
- ・各評価項目に対して成果を出すための工夫や努力が見られる。地域に根ざした美術館への取り組みが企画展のワークショップのあり方に表れている。

展覧会

- ・展覧会名は、一般の人に分かりやすいタイトルだとよいです。(次期展覧会の)「星空」は非常にわかりやすい。

連携

- ・ここ数年はコロナ禍ですが、学校へはこまめに足を運び非常に働きかけされている。今後は、美術館・図書館としてスタイルも変わるし、学校とのつながりは模索されたい。
- ・学芸員をはじめ若いスタッフの方が熱心であり、細かいところまでよく気が付き良い。ただ、あと少しだけ瓦関連の企画、展覧会をもう一つ増やしていただけると、高浜市としてやきものとして世間にPRできると思う。

今後の施設運営

- ・かわら美術館は今後、図書館機能も併せ持つことになり、高浜において文化交流の拠点としてこれから益々重要な施設となっていく。指定管理者にとっても施設が多機能となり、更に難しい運営となると思われるが、これをプラスに考え、これまでになくユニークな活動を期待する。
- ・かわら美術館は開館から27年になり、老朽化も進んでメンテナンスもこれまで以上に必要となってくるかと思うが、今後このような素晴らしい文化的施設を作る事は、今の高浜の経済状況を考えると難しいかと思われるので、これからも高浜市民の潤いの場所、宝物として大切にして維持管理していただきたい。